

## 1. 授業の目的と概要

マクロ経済における所得分布の理論を学習する。所得の平等・不平等は経済成長に影響を与えるのか、またマクロ経済における所得分布のダイナミクスはどのように決定されるのか、これまでに提起された様々な理論を体系的に講義する。

## 2. 学習の到達目標

中級～上級レベルの標準的マクロ経済学理論を基礎として、それに所得分布という非均質的要素を取り込む方法を理解・習得する。さらにこれらのツールを現実的課題や未決の学問的課題に応用できるようにする。

## 3. 授業の内容・方法と進度予定

基本的には下記の教科書に沿って講義する。

Part One Aggregate Growth and Individual Savings

1. Production and Distribution of Income in a Market Economy
2. Exogenous Savings Propensities
3. Optimal Savings
4. Factor Income Distribution
5. Savings and Distribution with Finite Horizons
6. Factor Shares and Taxation in the OLG Model

Part Two: Financial Market Imperfections

Part Three: Many Goods

## 4. 成績評価方法

期末試験・宿題による

## 5. 教科書と参考書

Giuseppe Bertola, Reto Foellmi, and Josef Zweimüller. “Income Distribution in Macroeconomic Models,” Princeton University Press, 2006. (ISBN-13: 978-0691121710)

## 6. 予習と復習について

授業前にテキストの当該章に目を通しておくことが望ましい。また、学習した理論をツールとして身につけるには、復習として自ら計算してモデルを解くことが不可欠である。まずは授業・テキストのモデルを実際に解いて確認し、次に章末問題を自力で解いてみること。

## 7. その他（履修の条件、連絡先、オフィスアワー等）

- ・ 中級ミクロ・マクロを履修済であるか、同時履修することが望ましい
- ・ 前年度開講の応用マクロ経済学特論 a の履修は前提としない
- ・ 連絡先・オフィスアワーは授業中に指定します